

第33期 (令和8年6月～令和9年10月)

# 所沢市民大学

## 募集案内

「学びが創る 仲間と未来」



所沢市民大学は、自ら学ぶ市民の学習の場です

### 市民大学の理念

- ・ 市民参加でつくる
- ・ 出会いの場、交流の場をつくる
- ・ 問題を発見し共に考える
- ・ 地域に学びをひろげる



# 「学びが創る 仲間と未来」

所沢市民大学は全体学習（1年次）とグループ学習（2年次）から構成され、約1年半にわたる2年次制の学習講座です。

1年次は31期修了生の有志（企画委員）が多彩な講座を設定しました。受講生・企画委員・事務局（市職員）の協働により運営していきます。

## 1年次

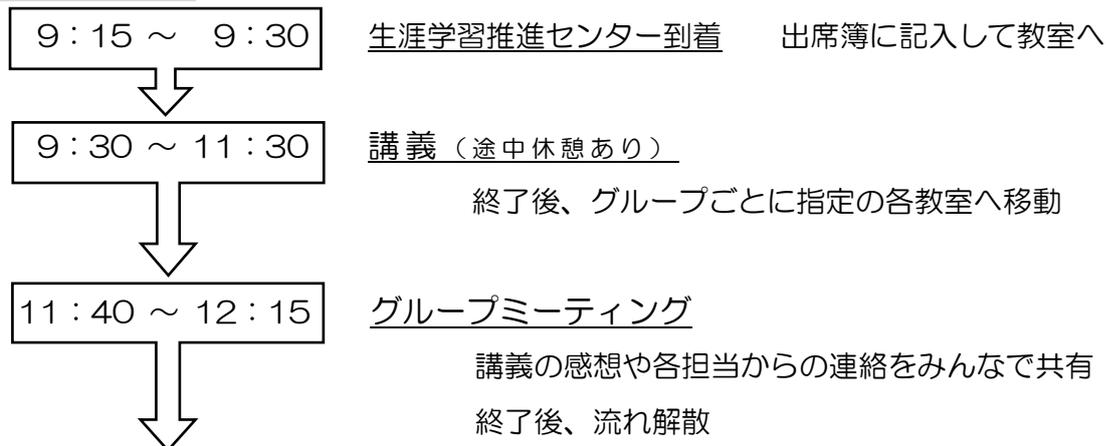
### ● 座学中心の学習とグループ編成委員会活動

1年次は全員で座学中心の講義を受講し、学習していきます。

また、受講生は原則10名ずつのグループに分かれ、各グループ内で役割を分担しながら各委員会に参加し、特別プログラム等の活動を行います。



### ● 1日の流れ



※ 課外授業や各委員会の会議がある場合は、午後に行われる予定です

### ● グループ内の役割分担

グループミーティングで下記の役割を全員で分担して決めていただきます。

<主な役割>

グループリーダー	1名	グループのまとめ役、連絡会議（月1回）に参加
サブリーダー	1名	グループリーダーの補佐役、連絡会議（月1回）に参加
広報委員	2名	受講生らによる機関紙『ところざわ市民大学通信』のとりまとめ
移動学習委員	2名	担当企画委員とともに「移動学習」の企画・運営
課外授業委員	2名	担当企画委員とともに「課外授業」の企画・運営
レクリエーション委員	2名	担当企画委員とともに「自由企画」や「修了パーティー」の企画・運営

# 2年次

## ● 受講生のグループ編成による自主・自立的活動

### 《2年次 講座》

講座（グループ）	講師
音楽	笠松 泰洋
文学	清原 康正
福祉	李 泰俊
地域の自然	正田 浩司
所沢の歴史	門内 政広
所沢の農業	淵野 雄二郎
健康スポーツ	樋口 満

左表の7つの講座から1つを選び、グループ単位で学習を進めていきます。

受講生を中心に学習内容を計画・進行し、概ね月1回のペースで講師の指導を受ける日を設けます。

講座ごとに学習の進め方は違いますが、2年次の前半はテーマ選定のために参考文献や資料の整理、フィールドワークでの現地調査や情報収集を行い、グループで意見交換を行います。後半は議論を進めながら学習を深め、発表会に向けて学んだことをグループでまとめていきます。

## ● グループ内の役割分担 1年次同様にグループで相談して全員で役割を分担します。

グループリーダー	グループのまとめ役、連絡会議（月1回）に参加
サブリーダー	グループリーダーの補佐役、連絡会議（月1回）に参加
広報委員	受講生らによる機関紙『ところざわ市民大学通信』のとりまとめ
レクリエーション委員	2年次修了パーティーの企画・運営
グループ学習発表会委員	10月のグループ学習発表会の企画・運営
学びの記録作成委員	「学びの記録」の編集作成

## ● グループ学習の成果

グループ学習の成果は10月の『グループ学習発表会』で発表します。

また、学習成果や市民大学での活動をまとめた冊子『学びの記録』を作成します。

### グループ学習（一例）

室内で講師のアドバイスを受けながら学習を深めたり、フィールドワークで訪問先の方々のお話を直接伺う交流型の学習を行ったり、各グループで学習の仕方も考えて進めていきます



### グループ学習発表会

それぞれの学習の成果を発表します



### 学びの記録



これまでの学習をまとめ、冊子を作ります

大変なこともあるけれど、発表会や学びの記録が完成したときの達成感はひとしおですよ！



# 《1年次講座プログラム・日程表》 ※テーマ・学習内容は変更となる場合があります

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
2026年6月4日(木) 開講式・オリエンテーション	開講式:所沢市民大学学長(教育委員会教育長)から祝辞があります。 オリエンテーション:市民大学の概要、グループ活動、役割分担などについて説明します。
6月11日(木)・18日(木) 音楽 笠松 泰洋 (作曲家・演奏家) 2年次講座 担当講師(注)	「人類の足跡と音楽」 1日目「世界の音楽は繋がっている」:2日目「オペラの登場と近代西洋音楽の発達」 遺伝子解析の発達により明らかになってきた人類の足跡と、言葉の発明より先にあったとも言われる音楽がどのように生まれてきたかの考察の変化をふまえ、音楽史を再考します。また、オペラの登場がもたらしたものに着目して西洋音楽も再考します。
6月25日(木) 所沢の歴史と文化 文化財保護課職員	私たちが暮らしている所沢は、どのような地域で、どのような歴史、文化を歩んできたのでしょうか?この講義では古代から現代にいたるまで、駆け足で所沢の歴史や文化の特徴を学びます。
7月2日(木) 文学① 清原 康正 (文芸評論家) 2年次講座 担当講師(注)	「エッセイから辿る池波正太郎の生涯」 作家を理解するにはエッセイを読むと考え方、人柄、日常生活などが良く理解できます。今回の講座は、池波正太郎の数多くのエッセイを辿りながら作品に対する情熱、人生観、日常生活などに焦点を当てます。
7月9日(木) 自由企画	この日は各グループで自由な計画を立てて共に学習し、親睦を深めます。
7月16日(木)・23日(木) 福祉 李 泰俊 (早稲田大学非常勤講師) 2年次講座 担当講師(注)	「老いはどう生きるか-支え合いの社会を考える-」 1日目「老いは“個人の問題”か“社会の問題”か」:2日目「これからの老いをどう設計するか」 老いは自己責任か、それとも社会の課題か。高齢社会の現実と制度の仕組みを学びながら、地域における孤立や支え合いの問題を考察します。これからの人生を主体的に設計する視点を共に深めます。
9月3日(木)・10日(木) 地域の自然 正田 浩司 (大東文化大学非常勤講師) 2年次講座 担当講師(注)	「所沢市周辺の地形発達と自然の歴史」 1日目「“となりのトトロ”に学ぶ所沢周辺の地形」:2日目「最終氷期以降の植生の変遷」 所沢市周辺の地形はどのようにしてできてきたのか?植生はどのように移り変わってきたのか?身近な自然の歴史について考えます。立体模型や地形図なども活用しながら、具体的なイメージがつかめるようにします。
9月17日(木)・24日(木) 所沢の歴史 門内 政広 (文化財保存全国協議会会員) 2年次講座 担当講師(注)	「所沢の魅力、再発見の旅」 1日目「谷戸(やと)のある生活」:2日目「古道からみる古(いにしえ)の所沢」 狭山丘陵の谷戸をはじめ、自然との関わりの中で生まれ、育まれてきた先人の文化に目を向けます。「東山道武蔵路(とうさんどうむさしみち)」、「鎌倉街道」、「江戸道」などの所沢を通っていた古道に着目しながら所沢の魅力を再発見します。
10月1日(木) 所沢の農業 淵野 雄二郎 (東京農工大学名誉教授) 2年次講座 担当講師(注)	「所沢農業と市民的食農システムの可能性と課題」 所沢市の多様な農業経営の現状に注目し、食料供給の不安定化や環境危機に所沢農業は、どのように対応すべきかを考察します。地産地消や援農ボランティア活動など農家と市民の協働活動をJAや行政の施策にどのような道筋で反映させていくか等について検討します。
10月8日(木)・15日(木) 健康スポーツ 樋口 満 (早稲田大学名誉教授) 2年次講座 担当講師(注)	「動楽と食楽で健康長寿」 1日目「老化プロセスと健康・体力」:2日目「健康寿命を伸ばすライフスタイル」 ミドル～シニア・エイジにとって、健康・体力の保持はQOL(Quality of Life;生活の質)を高め、生きがいのある生活を送るための基盤です。健康・体力づくりの2本柱は運動(“動楽”)と食事(“食楽”)です。本講座では、健康長寿の基盤である“動楽と食楽”について学習します。

(注) 2年次グループ学習の講座の指導を担当する講師です(3頁参照)

## 《1年次講座プログラム・日程表》 ※テーマ・学習内容は変更となる場合があります

日程／講座・講師	テーマ・学 習 内 容
10月29日(木) 文学② さいとう なおこ (子規庵保存会理事長)	「文豪子規の素顔」 重い結核を患いながら俳句や短歌の改革に力を尽くした「正岡子規」とはどのような人物だったのでしょうか。三十四歳十一か月で亡くなったその素顔は病床生活の中に喜びを見つける天才でした。健やかなまなざしを持って生きた子規の日常をご紹介します。
11月5日(木) 移動学習【自由参加】	社会科見学を予定しています。学びとともに受講生同士の親睦を深めます。
11月12日(木)・19日(木) 美術 斎藤 陽一 (美術ジャーナリスト)	「ピカソの読み方 ①・②」 ピカソの絵画は創造と破壊を繰り返し、変貌を続けたため難解と言われますが、読み解く「キー」が存在します。「キー」を使って作品と対面すれば、よく理解することができ、身近に感じられます。各時期の典型的な作品を取り上げ、「キー」を使ってピカソの芸術を読み解きます。
11月26日(木) 国際文化交流 峯岸 弘之 (国際交流ボランティア)	「ドキドキ・ワクワク—未知との遭遇での不安と楽しさ—」 グローバル化が進み、多様な文化・人々との接触が増えています。未知の世界に足を踏み入れるのは不安もありますが期待もあります。一步踏み出せば世界が広がり、そのことが自国の文化社会を見つめ直すことにもつながります。国際理解・異文化交流について考えましょう。
12月3日(木) 脳の科学 阿部 和穂 (武蔵野大学教授)	「脳を知り、脳の衰えを防ぐ」 普段私たちは自分の頭の中にある脳がどんな働きをしているか意識することは少ないですが、認知症などを考えたとき、脳の働き、そしてそれを衰えさせないためにはどうすればよいか知りたくなるに違いありません。今回の講座ではその手助けとなる情報を提供します。
12月10日(木) 日本の外交 茂木 貴 (国際情勢アナリスト)	「世界の動きと日本」 今回の衆議院選挙の衝撃的な結果は、日本の歴史的な分岐点になりえるものと考えます。世界は「トランプ現象」により戦後秩序は崩壊し「力こそ正義」の時代を迎えています。「前途多難・五里霧中」の国内外を、見通す術はありませんが、何が大切なのかを考えていきましょう。
12月17日(木) 食の安全 高橋 久仁子 (群馬大学名誉教授)	「健康に関連する食の情報を科学する～フードファディズムとは～」 健康に関連する虚実混交の食情報が溢れています。フードファディズムは「食べものや栄養が健康や病気に与える影響を過大に評価・信奉すること」で、食情報にはこれがたくさん紛れ込んでいます。フードファディズムの実例と健康に配慮した食生活について考えましょう。
2027年1月14日(木) 中核市を目指す所沢市 経営企画課職員	「もっと可能性が広がるまちへ」 所沢市は2030年4月に中核市になることを目指していますが、市民の中にはそのことを知らない方も多いかもかもしれません。なぜ所沢市は中核市を目指しているのか？中核市になると市民の暮らしはどう変わるのか？所沢市の将来の姿について学んでいきます。
1月21日(木) 災害対応力が脆弱な所沢 齋藤 宏保 (フリージャーナリスト)	「地域防災力を高めて、大災害に備えよう！」 いつ起きてもおかしくない「首都直下地震」、地球温暖化による豪雨災害の頻発、台風強大化の中で、所沢もいつ大きな災害に巻き込まれるか分かりません。どうすれば地域防災力を高められるのか、長年の災害担当記者や自治会役員の経験を踏まえ、お話しします。
1月28日(木) 家族と福祉 根岸 弓 (横浜市立大学准教授)	「所沢市民として守られるべき人は誰？家族による福祉を前提とする日本型福祉を再考する」 明治以降、社会福祉の制度化は「家族」を前提に進められました。家族で何とかしようという考えは現代の私たちにもなじみ深いものです。しかし、家族は万全な要塞たりうるのでしょうか？所沢にもある児童虐待、ホームレス、介護などの問題を家族と福祉の視点から考えます。

# 募集要項

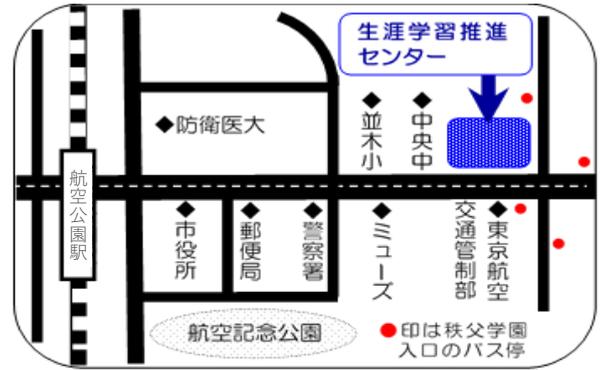
【期間】 **1年次** 2026年6月（開講式は6月4日）～2027年1月  
**2年次** 2027年2月～10月

【曜日・時間】 **木曜日 9時30分～12時15分**（※1年次講座プログラム・日程表4,5頁参照）

\* 講座の日程は変更になる可能性があります。  
 \* 午後の活動として、課外授業や各委員会の会議が不定期に実施されます。

【主な会場】 **所沢市生涯学習推進センター**

- 住所 所沢市並木6-4-1  
 ■交通 西武新宿線「航空公園駅」東口から  
 ・徒歩約17分（1.3km）  
 ・西武バス約5分  
 いずれもバス停『秩父学園入口』下車  
 「並木通り団地」行き → 徒歩3分  
 「新所沢駅東口」行き → 徒歩3分  
 「エステシティ所沢」行き → 徒歩7分  
 「所沢駅東口」行き → 徒歩7分



【募集人数】 **70人** \* 応募者多数の場合は、公開抽選を行います。

抽選日時：2026年4月23日(木)午前10時～ 会場：所沢市生涯学習推進センター  
 \* 受講可否の結果は4月下旬頃にお知らせする予定です。

【対象】 **市内在住(在勤・在学も可)でかつ2年次まで受講可能な方**

\* 特定の単独講座のみの受講や、1年次のみ受講の応募はできません。

【費用】 **1年次 7,000円**（受講料5,000円+運営費2,000円）

**2年次 7,500円**（受講料5,000円+運営費2,500円）

\* その他に、自由企画や移動学習の交通費等の実費負担があります。

【応募方法】 **往復はがき** 又は **電子申請**（所沢市HP内、又は下記2次元バーコード）にて  
 所沢市生涯学習推進センターへご応募ください。

※往復はがきの記入例 切り離さずに投函してください（お一人1枚のみ有効）

＜外側＞

返信の文面となる右側は  
 記入なし白紙のまま↓

＜内側＞

右側は往信の文面(裏面)  
 (中央で谷折りにしてください。)

往	359-0042	返	〒	⑥	⑤	④	③	②	①
	生涯学習推進センター 市民大学担当行		受講希望者の氏名様	性別	年齢	電話番号	氏名(ふりがな)	住所	「市民大学申込」と記入
《往信の宛名面》	《返信の文面》	《返信の宛名面》	《往信の文面》						

※電子申請用  
 2次元バーコード



電子申請のお申込みは  
 3月23日(月)から受付  
 を開始します。

【応募締切日】 **2026年4月15日(水) 必着**

【問合せ先】 所沢市生涯学習推進センター ☎04-2991-0303  
 (祝日を除く午前9時～午後5時15分)